

I 時代の潮流ととちぎの課題

時代の潮流

- 人口減少、高齢化の進行
 - 「団塊の世代」「団塊ジュニア」の加齢に伴い、高齢化が急速に進行
 - 自然減の拡大、女性（20歳代前半）の県外転出
 - 外国人住民の増加
- 経済環境の変化
 - 製造業の割合が高い一方、第3次産業の割合増加
 - 農林業の担い手の減少
 - 観光客入込数、宿泊数の増加
 - TPP11の発効等
 - 労働力人口の減少
- 生活環境の変化
 - 災害の頻発化、激甚化
 - 社会保障給付費の増大
 - 新学習指導要領の導入、待機児童の発生
 - 児童虐待相談対応件数の増加
 - 空き家等の発生、公共交通需要の高まり
- 新しい時代の流れ
 - Society5.0の実現に向けた未来技術の活用
人口減少や少子高齢化の進行に伴う、様々な分野における担い手の不足、交通弱者の増加、高齢者の社会的孤立、医療・教育等の格差などの社会的課題を解決するためには、AIやIoTなどの未来技術が身近な生活の中で活用され、モノやサービスの生産性・利便性を向上させることにより、地域・年齢・性別等による格差をなくし、経済発展と地域課題の解決を両立していける社会（Society5.0）の実現をめざしていく必要がある。
 - SDGsの達成に向けた取組
SDGsは、2015年に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための目標」であり、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済、社会及び環境の三側面における持続可能な開発を統合的取組として推進するとしている。
SDGsの理念は、本県が取り組む各種施策と共有できるものが多く、各種施策を着実に推進していくことが、SDGsの達成につながっていくものと考えられる。

とちぎの課題

- 教育環境の充実
- 社会全体で子育てを支援する体制づくり
- 東京オリンピック・パラリンピック、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催を契機としたスポーツや健康づくりに対する関心の高まり
- 県産品の輸出や企業の海外進出などの戦略的な取組
- 健康寿命の延伸、地域包括ケアシステムの推進
- 感染症等の発生に伴うリスクへの備え
- 外国人が地域で共生できる受入環境整備
- 女性、高齢者等の労働参加、雇用ミスマッチの解消
- 地域防災力の強化
- 気候変動の影響への対応
- 防災・減災対策、県土強靱化、インフラの老朽化
- 魅力ある地域資源の効果的なPR
- 公共交通ネットワークの確保・充実、コンパクトシティの形成
- 出生率の向上や若者を中心とした転出超過の解消
- Society5.0の実現に向けたAI、IoTなどの未来技術の活用による生産性・利便性の向上

とちぎの将来像の実現に向けた基本姿勢

- すべての県民が担い手として協働し活躍する
- すべての地域が連携・協力する
- すべての分野でとちぎの魅力を発信し確実に届ける

II めざすとちぎの将来像（案）

次代を担うたくましい人材が育ち、あらゆる場で活躍する「とちぎ」

- 学校や家庭だけでなく、社会全体で子どもたちを育てる意識が広がっている
- 子どもたちの学力・体力が向上するとともに、豊かな人間性が育まれている
- ふるさととちぎを愛する心を持ちながら、グローバルな視野で次代を担う人材が育っている
- いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催が新たな夢や感動を生み、未来の人づくりにつながっている
- とちぎで育った人材が、希望をかなえ、あらゆる場で持てる力を発揮して活躍している

魅力ある多彩な産業が活力にあふれ、豊かさに満ちる「とちぎ」

- AIやIoTなどの未来技術の活用により生産性が向上している
- 強みであるものづくり産業をはじめ、サービス産業、農林業、観光業など魅力ある多彩な産業が力強く成長している
- 県産品の販路開拓や輸出の拡大、企業の海外進出、観光客の増加など、稼ぐ力が生まれ、生活に豊かさがもたらされている

いつまでも健康で、誰もがいきいきと暮らせる「とちぎ」

- 若い頃から高い意識と正しい知識を持って健康的な生活習慣を実践している
- 生涯にわたって保健・医療・福祉サービスや生活支援サービスが提供され、高齢になっても健康でいきいきと暮らしている
- 感染症等の発生に備え、地域の実情に応じた医療資源の確保が図られている
- 各世代のライフスタイルに合った社会環境が整うとともに、ノーマライゼーションや多文化共生の理解が進み、若者や女性、高齢者、障害者、外国人など、誰もが活躍し、快適な生活を送っている

強くしなやかで、安全・安心を実感する「とちぎ」

- 一人ひとりの防災意識が高まり、地域における様々なリスクへの対応力が強化されている
- 気候変動への適応や災害に強いしなやかな県土づくりが進んでいる
- 社会インフラが整い、災害や感染症等の発生時においても、日常生活への影響が最小化されるなど「安全・安心なとちぎ」を実感している
- 地域全体で交通事故や犯罪などの危険から身を守る取組が広がっている

豊かな自然・誇れる地域を未来につなぐ「とちぎ」

- 様々な分野における未来技術の活用により、生産性や利便性が向上し、地域が豊かになり魅力が高まっている
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、とちぎのブランド力が更に向上し、多くの県民が誇りを持ち、とちぎに住み続けたいと思っている
- 都市機能が集積したコンパクトな拠点、電車・バス等の公共交通が充実したネットワークの形成が進み、生活がますます便利になっている
- 省エネや3R、食品ロス削減など、環境にやさしい行動を実践する意識が向上するとともに、豊かな自然を守り共生する大切さを次の世代に伝えている
- 誰もがSDGsの理念を理解し、持続可能な社会の実現に向け、連携して取り組んでいる

今年度、今後5年間で取り組む施策内容を検討